



そのさき！！ とのさき通信！！

大好き
みやぎ

≪ 討議資料 ≫

発行 // 宮城県議会議員 **とのさき 浩子** (泉区選出) 〒981-3203 仙台市泉区高森 7-33-7

http://daisukimiyagi.com
hiroko4783@yahoo.co.jp

とのさき浩子 検索



厳しい寒さが続いて冬も去り、そろそろ春の息吹を感じる頃となり、2月議会終了後に発行している「そのさき！！とのさき通信！！」ですが、今回は令和5年度の当初予算を含む2月議会の進捗状況報告し、人の往来もあり何かと気ぜわしい頃ですが引き続きお身体に気をつけてお過ごし下さい。又、何かお気づきの点、ご意見等、いつでもお知らせ下さい。 宮城県議会議員 外崎浩子



令和4年第386回宮城県議会定例会

(エネルギー・食料品価格等の物価高騰への対応)

		(単位 ; 千円)
生活困窮世帯支援費	生活困窮世帯を対象に灯油購入費助成を行う市町村への支援	48,000
省エネ家電等購入促進費	省エネ性能の高い家電などへの買換え促進キャンペーンの実施	123,000
生活衛生事業者原油価格高騰対策費	クリーニング所などに対する燃料費のかかり増しへの支援	20,000
医療機関等物価高騰対策費	医療機関、保険薬局などに対する光熱費のかかり増しへの支援	1,269,131
肥料価格高騰対策費	国の肥料価格高騰対策事業への上乘せ支援	693,000
倉庫事業者原油価格高騰対策費	倉庫事業者に対する光熱費のかかり増しへの支援	271,000

(その他)

盛土対策費	課題のある盛土箇所への安全対策の実施(泉区北中山地区など)	433,830
宿泊・観光需要創出支援費	需要創出に向けた宿泊割引への支援	5,670,000 等。

下記の意見書を県議会で可決をし、国に送付いたしました

带状疱疹ワクチンの定期接種化を求める意見書。災害復旧及び防災・減災、国土強靱化の推進に必要な予算の確保を求める意見書。

2023年度当初予算審議

2023年度の当初予算案は、総額1兆792億円。3月17日まで開会の2月議会にて審議中です。審議結果につきましては次回の“そのさきとのさき通信！！”にてご報告いたします。

新型コロナウイルス患者専用病床の確保など医療提供体制整備	415億4500万円
若手漁業者の漁船などのリース導入支援事業	1億6300万円
震災伝承団体への支援	1600万円
テック系スタートアップ企業の成長支援	2500万円
陸上養殖の導入を目指す事業者への助成	1億135万円
置き型授乳室の設置促進費	4261万円
医療的ケア児の通学支援モデル建築事業	221万円
遠隔授業の実施などのひきこもり対策推進費	3161万円
居場所支援などのひきこもり対策推進費	3744万円
原子力災害避難支援アプリの導入	1980万円

各職域団体との会議や、地域活動を通じて情報交換を行っています



宮城県医師連盟役員の皆様方との勉強会。



宮城県看護連盟役員の皆様方との勉強会。



令和5年度当初予算に反映を頂くべく、自民党・県民会議会派の役員に村井知事に会派議員がそれぞれの地域での課題をしっかりと網羅、要望の申し入れを行う。



仙台消防出初式都市長



顧問を務める宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合清水会長と。



地域再生建物活用促進調査特別委員会



高森のホライゾン学園へ、トルコ大地震のお見舞いを伝えるべく訪問。



根白石橋通行開始へ、庄司俊充仙台市議会議員と。



月、1回のこども食堂 泉区寺岡どんぐり食堂にて。

仙台市泉区北中山地区における行政代執行工事について

仙台市泉区北中山地区における林地開発許可地内の盛土については、行政代執行法に基づき、令和4年12月20日付けで開発行為者に対して行政代執行令書を発出。宮城県は令和5年2月15日付けで代執行工事の請負契約を締結しました。工事の概要については地元町内会長の皆様への説明会を開催予定です。今後も引き続きこの地域の安全、安心を丁寧に見守ってまいります。

内容 地すべり活動を抑制するため、斜面頭頂部の盛土を除去するとともに、雨水が地中に浸透することを防止するために排水路整備や緑化を行う。

排土工 V=51,800 m³, 残土処理工 V=29,480 m³, 排水工 L=1,945m, 植生工 A=8,966 m², 護岸工 A=1,109 m², 盛土工 V=20,960 m³, 仮設工 一式

工事期間 令和5年2月16日から令和5年10月31日までの予定

工事着手時期 (測量、刈払い等の準備工事) 令和5年3月上旬

工事請負契約額 370,700,000円 (11月補正予算で可決。全体額は430,000,000円。内2/3が国からの補助金。)

請負業者 株式会社 橋本店 (仙台市青葉区立町)

動向観測 現在実施している動向観測を工事施工中も継続する。

次回説明会 請負業者が重機による作業等の土木工事を開始する前に、詳細な工事の日程・内容等に関する説明会を実施予定 (県も同席) ですが、工事期間が梅雨や台風時期にも重なるため十分に注意を払っていくよう要望を続けてまいります。

「新たな児童虐待防止対策体制強化プラン」を策定

昨年12月15日、「新たな児童虐待防止対策体制総合強化プラン」が策定されました。これまでも児童虐待防止については、勉強会や現場の皆さんの声を伺い、地道に取り組んできたところです。しかし、全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は増加しています。この深刻な状況下で、児童虐待防止対策を更に推進していくため、この決定に基づき、児童相談所や市町村の体制強化を引き続き計画的に進めていくための新たな強化プランが策定されました。

児童相談所の体制強化

児童福祉司の増員 【令和4年度 5,780人程度→令和6年度 (+1,060人程度増員) 目標 6,850人程度】

児童心理司の増員 【令和4年度 2,350人程度→令和8年度 (+950人程度増員) 目標 3,300人程度】

弁護士との連携等、一時保護の体制強化、児童福祉司等の負担の軽減。等

児童相談所の専門性強化

児童福祉司や児童心理司など児童相談所の職員について、研修の実施等により専門性の向上を図る。

令和4年改正児童福祉法により創設されるこども家庭福祉の認定資格が多くの方に取得され、児童福祉司として任用が進むように取り組む。等

市町村の体制強化

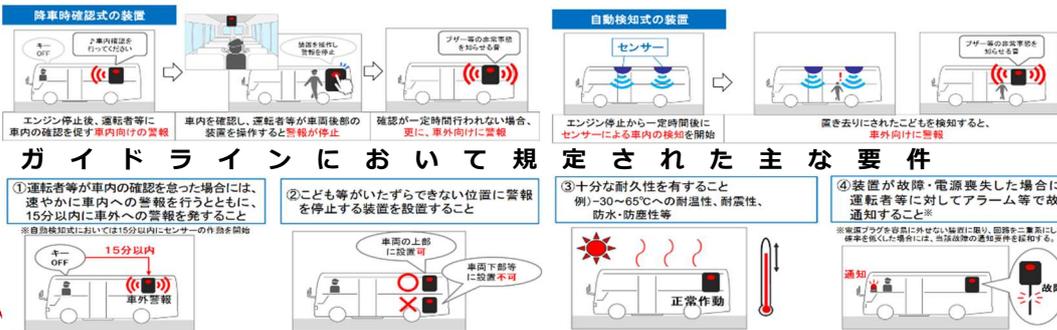
こども家庭センターの全国展開、「市区町村子ども家庭総合支援拠点」について、設置促進にむけて取り組みを継続。要保護児童対策地域協議会の強化、民間団体との協働を進めるなど地域ネットワークの更なる強化を図る。等。



昨今の悲惨な事故が起きた幼稚園バスについて

昨今相次いでいる、送迎バス車内の置き去りという悲しい事故を防ぐため、「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」を策定し、2023年4月からは置き去り防止装置が義務化されます。宮城県でも、私立学校 (幼稚園、保育園) 子どもの安心安全対策支援事業費で1億2000万円を計上。各施設でバスに対しての安全装置の設置を迅速に進めます。

送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドラインの対象となる装置



車内置き去り防止装置は、チェック漏れを事前に防ぐ「降車時確認式」、万が一車内に置き去りになってしまった場合に存在を検知する「自動検知式」の二つの方法を対象としています。

降車時確認式、自動検知式の両方に共通する主な要件。

外崎 浩子 (とのさきひろこ) プロフィール

昭和35年6月24日生。出身/大崎市三本木 (旧志田郡三本木町)

平成17年10月仙台市泉区より宮城県議会議員初当選。現在4期目。第39代 宮城県議会 副議長。自由民主党・県民会議 会派会長、

総務企画委員会委員、医療福祉議員連盟 副会長、芸術文化振興議員連盟 会長、自由民主党宮城県支部連合会 女性局長。

『花咲会』はなさきかい
とのさき浩子後援会にご入会を
お待ちしております。